

MS&AD Insurance Group Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL：03-6202-5270(代表) www.ms-ad-hd.com

2010年7月28日

2010年度第1四半期（4月～6月）のトピックスをご案内します。

1. 三井住友海上、あいおい損保、ニッセイ同和損保の営業概況（単純合算）

* 2010年4～6月、速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第1四半期は、主力の自動車保険が好調であったため、一般計で3ヶ月連続増収となりました。

（金額単位：百万円）

種目名	第1四半期（4～6月）	
	収入保険料	増収率（%）
自動車	309,848	1.7
自賠責	69,238	3.1
火災	93,225	1.0
傷害	48,888	4.2
新種	88,721	1.5
海上	29,560	1.5
一般計	639,481	1.2

2. 主なニュースリリース（2010年4月～6月） カッコ内はニュースリリースの日付

（1）国内事業

MS&ADインシュアランスグループが発足（4月1日）

三井住友海上、あいおい損保およびニッセイ同和損保は、4月1日に株式交換による経営統合を完了し、新グループ「MS&ADインシュアランスグループ」が発足しました。

長期自動車保険「ニューロング」を発売（4月23日）

三井住友海上は、10月1日始期契約から、長期自動車保険の新商品「ニューロング」を発売します。「ニューロング」は、1年契約と同様、前年の事故の有無に応じて翌年の保険料が決まる仕組みを採用した、業界初の長期自動車保険です。コストの削減効果等を反映し、補償を削減することなく、割安な保険料を実現します。

保険期間は、3年または2年とし、2年目以降の保険料は事故の有無にかかわらず、同じ補償で1年契約に比べ約3.5%割安（保険期間3年の場合、1年契約を3年継続するよりも総払込保険料が平均2%以上割安）となります。

事故受付子会社の横浜コンタクトセンター設立と業務開始について（6月29日）

あいおい損保の100%出資の事故受付会社である「あいおい損保あんしん24株式会社」は、7月1日に「横浜コンタクトセンター」を開設し、事故受付業務を開始しました。本コンタクトセンターは、所沢、沖縄に続き3拠点目となります。10月1日のあいおい損保とニッセイ同和損保の合併に先駆け、ニッセイ同和損保のお客さまの事故受付も行っていきます。

（2）海外事業

中国における生命保険会社へ出資について（4月6日）

三井住友海上は、中国の生命保険会社「信泰人寿保険株式会社」（以下、「信泰人寿社」）に対し、4月に7%（約24億円）の資本参加を行いました。また、非常勤取締役を派遣し、経営にも参画します。今後の市場動向や信泰人寿社の業容拡大に応じた増資対応等により、出資比率の引上げも視野に入れていきます。

マレーシアにおける損保事業の拡大、生保市場への参入について（6月18日）

三井住友海上は、マレーシアの有力コングロマリットであるホンレオングループと損保事業・生保事業にわたる戦略的提携に6月18日付で基本合意しました。損保事業は、マレーシアの現地法人である「MSIG Insurance(Malaysia)Bhd.」（以下、「MSIG マレーシア社」）にホンレオングループ傘下の「Hong Leong Assurance Berhad」（以下、「ホンレオン・アシュアランス社」）を統合します。MSIG マレーシア社は、三井住友海上70%、ホンレオン30%の株主持分比率とする損保会社となり、収入保険料では業界第2位の規模に拡大します。生保事業は、三井住友海上がホンレオン・アシュアランス社の既存株式の30%を取得し、マレーシア生保市場への参入が実現します。これにより、生保事業においても業界第6位の収入保険料規模の確固たる事業基盤を獲得することとなります。

（3）生保事業

三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合併について（5月20日）

当社は、関係当局の認可等を前提として、グループ傘下の生命保険会社である三井住友海上きらめき生命とあいおい生命が2011年10月1日に合併することを決定しました。グループ中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」にあげる5つの事業ドメインのうち、成長分野である国内生命保険事業において、事業基盤を拡大させ、グループとしての成長を加速させます。

通貨選択型終身保険を発売（6月7日）

三井住友海上メットライフ生命は、「利率更改型終身保険（通貨選択型）」の販売を開始しました。これは、契約通貨を米ドル、豪ドル、ユーロの3通貨から選択し、通貨ごとに決められた予定利率で複利運用します。死亡保険金として保障基準価格を最低保証するとともに、契約日から2年経過以降は、円建終身保険に移行することも可能です。

(4) リスク関連事業

天候デリバティブでの業務提携について(5月7日)

三井住友海上、あいおい損保およびニッセイ同和損保は、天候デリバティブ事業で業務提携し、あいおい損保、ニッセイ同和損保による三井住友海上の米国子会社の共同利用を2010年4月から開始しました。天候デリバティブ分野におけるノウハウの共有により、MS&ADインシュアランスグループが掲げる5大事業の1つである金融サービス事業での経営統合によるシナジーを発揮していきます。

生物多様性のポテンシャル評価コンサルティングを開始(5月28日)

MS&ADインシュアランスグループのインターリスク総研は、株式会社地球環境計画、住友林業緑化株式会社と共同で、国内初となる「事業所の生物多様性ポテンシャル評価ツール」を開発しました。本ツールを活用することで、複数の事業所の中から生物多様性の取組みを優先して行うべき事業所を決定することが可能となりました。

ライフライン総合診断とBCP策定の総合コンサルティングサービスを開始(6月14日)

MS&ADインシュアランスグループのインターリスク総研は、株式会社NTTファシリティーズと共同で、大規模災害時における事業継続計画(BCP)を策定する「事業継続総合コンサルティングサービス」の提供を6月15日より開始しました。本サービスは、NTTファシリティーズが従来から行っている建物・設備の耐震性診断に加え、新たにライフラインの途絶が企業に与える影響を定量的な分析・評価に基づき、BCPの策定を支援するものです。

(5) 環境・社会貢献活動

早稲田大学商学部へ寄附講座を開講(4月8日)

あいおい損保、MS&AD基礎研究所は、4月9日より早稲田大学商学部において、「新時代の保険事業 - グローバルスタンダードと少子高齢化社会を迎えて」をテーマに計15回の寄附講座を開講しました。本寄附講座は2007年から開講し、今回で4年目となります。

チリ地震被災者への義援金について(4月14日)

当社は、2月に発生したチリ地震の被災者、被災地の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、約280万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し、同額を会社側が拠出することで、総額560万円規模を、被災国義援金寄付窓口を通じて寄贈しました。

第14回 国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険 奨学生認証式を開催(6月15日)

ニッセイ同和損保は、5月26日に第14回国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険奨学生認証式を開催しました。これは、ニッセイ同和損保の前身である旧同和火災が平成9年に創業100周年記念事業の一環として、高齢者介護・リハビリテーションなどの医療福祉分野を支える人材を育成する国際医療福祉大学の学生を対象に創設した奨学金制度に基づき開催したものです。平成22年度は2,000万円を奨学金として寄付しました。

第1回いきものにぎわい企業活動コンテストで「審査委員特別賞」を受賞（6月23日）

三井住友海上は、経団連自然保護協議会をはじめとする4団体が主催する「第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト」において「審査委員特別賞」を受賞しました。これは、2005年より取り組んでいるインドネシア共和国ジャワ島での熱帯林再生プロジェクトが評価されたものです。同コンテストは、企業による生物多様性保全や再生のための実践的な活動を顕彰するもので、応募件数154件の中から、農林水産大臣賞をはじめとする12の賞が発表されました。

（6）その他

「3つの力で世界をHAPPYに。」

MS&ADインシュアランス グループのテレビCMを放映（4月1日）

当社は、グループ発足に伴い全国ネットでテレビCMを放映しました。三井住友海上、あいおい損保、ニッセイ同和損保の3社が1つのグループになり、日本一になった「MS&ADインシュアランス グループ」が世界の人々を幸せにしていくことを宣言した企業広告です。

スタジオジブリ「借りぐらしのアリエッティ」に特別協賛（4月19日）

当社は、三井住友海上、あいおい損保、ニッセイ同和損保の経営統合を記念し、7月17日より全国ロードショーされているスタジオジブリ最新作「借りぐらしのアリエッティ」に特別協賛しています。国際的にも評価の高いスタジオジブリ作品への協賛を通して、国内NO.1の損保グループとして、お客さまの暮らしを守り、世界にチャレンジしていく「MS&ADインシュアランス グループ」のブランドを展開していきます。

3. スポーツ・トピックス

女子柔道部

- ・「全日本選抜柔道体重別選手権大会」（4月3日～4日）

福岡国際センターで開催された「平成22年 全日本選抜柔道体重別選手権大会」に三井住友海上から7名の選手が出場し、上野順恵選手（63kg級）、中村美里選手（52kg級）が優勝しました。

- ・「2010グランドスラム・リオデジャネイロ」（5月22日～23日）

ブラジル・リオデジャネイロで開催された「2010グランドスラム・リオデジャネイロ」に三井住友海上から3名の選手が日本代表として出場し、上野順恵選手（63kg級）、中村美里選手（52kg級）が優勝し、上野巴恵選手（70kg級）が5位に入賞しました。